

第 58 回 関西歯科麻酔研究会

大 会 長 工藤 千穂 (大阪大学大学院歯学研究科 歯科麻酔学講座)

日 時 令和 7 年 7 月 26 日 (土) 午後 1 時から

場 所 大阪大学歯学部 F 棟 5F 弓倉記念ホール

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-8

年会費 ¥ 3, 000 (今年度は研究会およびリフレッシャーコース参加、研究会のみ参加、リフレッシャーコースのみ参加、すべて 3, 000 円とさせていただきます)。

- 発表形式等
- 1) 一般講演は発表時間 7 分、質疑応答 3 分です。
 - 2) 液晶プロジェクター (1 面) とコンピュータ (Windows 10)、プレゼンテーション用ソフトは Power Point 2019 をご用意いたします。USB メモリーにデータを記録してお持ちいただくか、コンピュータをご持参ください。枚数制限はありません。
 - 3) 変換ケーブルが必要な機種 (Macintosh 等) をご使用の場合は変換ケーブルをご持参ください。
 - 4) 発表スライドの確認は研究会開始前と一般講演 I と II の間に行っていただきますので、余裕をもってご来場ください。
 - 5) 発表スライドには利益相反状態を表示の必要があります。 昨年の歯科麻酔学会を参考に作製してください。
 - 6) 400 字の後抄録を発表日翌日までに、必ず電子メールでご送付ください。
後抄録送り先 handai.shikamasui@gmail.com

大阪大学大学院歯学研究科 歯科麻酔学講座 工藤 千穂 宛

※ 歯科麻酔認定医、専門医の先生は本研究会への参加、発表で、認定医、専門医の更新単位が得られます。受付にお申し出ください。

単位数に関しましては旧制度と新制度で異なりますので、各自でご確認ください。

※ 日本歯科麻酔学会会員カード (会員番号と QR コードが記載されているカード) を当日ご持参ください。 そのカードで出席登録を行う予定です。

※ 今回は、日本歯科医師会の生涯研修単位登録は行いません。

※ クールビズでご来場ください。

※ 会場内は飲食厳禁となっております。

※ 今回の特別講演は日本歯科麻酔学会リフレッシャーコースに認定されております。

リフレッシャーコースのみの参加であっても参加費は 3, 000 円です。

遅刻や途中退席はいっさい認められません。

-

プログラム

1. (13:00 ～13:05) 会長挨拶
2. (13:05 ～13:15) 会員総会
3. (13:15 ～13:45) 一般講演 I

座長 大阪大学大学院歯学研究科 歯科麻酔学講座 小田 若菜 先生

- 1) 大阪歯科大学附属病院ペインクリニックの現状と今後の取り組み
○岡安 一郎, 新井 由起子, 池田 善紀, 吉田 啓太, 内田 琢也, 真鍋 庸三, 百田 義弘
大阪歯科大学歯科麻酔学講座
大阪歯科大学附属病院歯科麻酔科・ペインクリニック
- 2) 歯科麻酔科外来における COVID-19 蔓延後に後遺症を有する患者の全身管理
○野口 美和, 内田 琢也, 平 葉月, 高木 風花, 民上 三恵, 生野 珠央, 金田 一弘,
真鍋 庸三, 百田 義弘
大阪歯科大学歯科麻酔学講座
- 3) 当院における日帰り全身麻酔の現状
○和久田 哲生¹⁾, 橋口 清光²⁾
¹⁾医療法人清生会 和久田歯科医院 (三重県伊賀市), ²⁾橋口デンタルクリニック

☆☆☆☆☆☆☆☆ 休憩 (13:45～14:00) ☆☆☆☆☆☆☆☆

4. (14:00～14:20) 一般講演 II

座長 大阪歯科大学 歯科麻酔学講座 池田 善紀 先生

- 4) 上下顎骨切り術後に特発性縦隔気腫を生じた症例
○柳樂 拓夢, 宇佐美 奈由香, 木村 里咲, 工藤 千穂
大阪大学大学院歯学研究科 歯科麻酔学講座
- 5) 悪性腫瘍の長時間手術後に肺血栓塞栓症を認めた症例
○五十嵐 有希, 前川 博治, 重政 宏明, 工藤 千穂
大阪大学大学院歯学研究科 歯科麻酔学講座

☆☆☆☆☆☆

休憩（14:20～14:40）

☆☆☆☆☆☆

5. （14:40～15:40）特別講演 （日本歯科麻酔学会 リフレッシャーコース）

司会 大阪大学大学院歯学研究科 歯科麻酔学講座 工藤 千穂

「当院での薬物的行動調整を含めた障がい者歯科の取り組み」

たなかデンタルクリニック（兵庫県尼崎市開業） 田中 健司 先生

特別講演 「当院での薬物的行動調整を含めた障がい者歯科の取り組み」

たなかデンタルクリニック（兵庫県尼崎市） 田中 健司 先生

障がいがある方々に対する歯科診療は、患者個々の障がい特性、身体的・精神的な健康状態、ならびに治療に対する不安や恐怖心など、さまざまな要因が複雑に絡み合う中での対応が求められます。したがって患者および保護者との信頼関係の構築、行動の理解、スタッフ間の連携が不可欠であり、患者一人ひとりの特性に応じた個別対応と医療安全の確保を両立させながら、安心して受診できる歯科医療環境を整えることが必要です。

その中で障がい者歯科において診療を円滑に進めるうえで重要な役割を果たしているのが行動調整法です。行動調整法は行動科学、心理学、神経生理学、薬理学、麻酔学をはじめとする多くの隣接科学の理論と技法を応用した臨床的手法で、非薬物的行動調整として患者の心理面に配慮しつつ対応法や学習理論に基づいた行動療法の応用に代表される「心理的アプローチ」や不随意運動・異常反射や体動の制御・抑制のために行われる「生理学的アプローチ」があります。しかし、臨床の現場ではこれらの方法だけでは対応が難しい症例も少なくありません。

当院では、そのような症例に対して薬物的行動調整法として静脈内鎮静法、必要に応じて全身麻酔法を行動調整の選択肢の一つとして導入しています。これらは患者の年齢や障がいの種類、既往歴、過去の歯科治療経験、要治療歯の本数、本人や家族の希望などを総合的に評価したうえで選択しています。薬物的行動調整は単に診療を成立させるための手段ではなく、患者の尊厳と安全を守りより良い医療体験へとつなげるための重要な手法です。一方で、治療終了後に歯科受診が途絶えてしまい定期的な口腔衛生管理がなされず、再度う蝕が多発する症例も散見されます。したがって、治療後も継続的に適切な口腔ケアが受けられるよう、患者や保護者に対して口腔衛生の重要性について啓発し、予防のための定期管理へと結びつける取り組みが重要と考えています。

本講演では、当院における診療体制、行動調整の概要ならびに基本的な考え方、薬物的行動調整を行った症例また意図的に薬物的行動調整を行わなかった症例、および当院での薬物的行動調整法の実態について紹介いたします。さらに当院と他の医療機関との医療連携の実態や訪問歯科診療など、地域における包括的な障がい者歯科支援の現状と課題についてもお話したいと考えています。本講演が障がい者歯科に携わる皆さまにとって、今後の臨床の一助となれば幸いです。

【略歴】

2006 年 大阪大学歯学部卒業

2006 年～2013 年 大阪大学歯学部附属病院障害者歯科治療部

2013 年～2020 年 一般社団法人堺市歯科医師会 堺市重度障害者歯科診療所 副所長

2020 年 7 月～ たなかデンタルクリニック 開設

【その他の職歴】

川西歯科医師会ふれあい歯科診療所（障がい者（児）歯科診療）

南山城学園診療所 管理歯科医師

明石市立休日歯科急病センター兼障害者等歯科診療所（現 明石ユニバーサル歯科診療所）

【所属学会・資格】

日本障害者歯科学会 専門医指導医・専門医・認定医指導医・認定医

日本歯科麻酔学会

厚生労働省 歯科医師臨床研修指導医

NPO 法人 ダウン症ファミリー総合支援 めばえ 21 理事

アクセスマップ

電車：阪急電車千里線「北千里（終点）」下車、東へ徒歩約 25 分

モノレール：大阪モノレール「阪大病院前」下車、徒歩約 5～15 分

バス：

阪急バス・千里中央発「阪大本部前行」、「茨木美穂ヶ丘行」・北千里発「阪大病院線」

※千里中央発、北千里経由もあります。

近鉄バス・阪急茨木市駅発「阪大本部前行」（JR 茨木駅経由）

いずれも、「阪大病院前」下車、徒歩約 5 分



【歯学部・歯学研究科】